

つながって

会報(第21号)【地域つながりセンター発行】
2025年7月

地域つながりセンター

〒690-0017 松江市西津田 3-5-16

☎ 0852-67-3088 FAX 0852-67-6890

【URL】<https://www.ctc-shimane.jp>

基本方針／誰もが“自分らしく生きること”を大切にして、地域の中で医療・介護、そして暮らしをつなぎ「より多くの人が安心して住み続けられる地域づくり」をめざします。(諸団体連携による地域づくり活動や事業の推進)

正会員／島根県農業協同組合、松江保健生活協同組合、生活協同組合しまね
6つのおたがいさま(まつえ・やすぎ・いずも・雲南・大田・浜田・益田)
ひかわ医療生活協同組合、出雲医療生活協同組合(現在11団体)

オブザーバー／島根県社会福祉協議会、松江市社会福祉協議会



「たすけあい団体とケアマネさん、もっと情報交換したい!」 今年も交流会を実施!

2025年6月20日(金)出雲弥生の森博物館体験学習室にて、ケアマネ協会・あんしん支援センター(包括支援センター)・出雲市医療介護連携課・出雲市社会福祉協議会のご協力を得て、地域つながりセンター

主催にて「第4回事例 de 交流会」を開催しました。

2021年度からスタートして今回は第4回目。助け合いは、8団体からコーディネーターを中心に参加、ケアマネさんも20数名の参加がありました。題して・

『安心して住み続けられる出雲市への第一歩 〜いっしょに考えよう、地域の困りごと〜』



交流会の内容・進め方などは、協力する五者により、打ち合わせから振り返りまで一緒に行いました。

当日は、介護保険制度やケアマネの役割等について、また出雲市「住民参加型在宅福祉サービス団体」の概要などを互いに学び、両者の連携事例(助け合い事例・ケアマネ事例)もそれぞれ報告しました。

しかし、「こんな連携いいね!」という事例は、まだまだ少ないことも確認できました。

ケアマネさんって、本当に忙しいと改めて思った。情報共有は、その忙しさの軽減にもつながるのではないかな。

高齢者の増加に伴う課題が見え、自分でも何かできる事はないか具体的に考える機会になった。

それぞれの立場だけから見ると相手に対して不満を感じる場面もあると思うが、お互いに認め合うことから良い連携はスタートすると思う。

ケアマネは専門職として関わる強みもあるが、互助活動だからこそ、地域の方は利用者と開かれた関係が築けるということもある。
多層的な支援がチーム形成されたいいなと思う。

だからこそ、『お互いに関わり合い方を模索していくことからかな。』『ケアマネさんには、そのマネジメントの柱となって、周りをつないでもらえるといいね。』『多様な支援がもっと必要になる。関わる人たちが、情報を共有したり、事例検討を通して課題を出し合えたらいいね!』etc.とめざしたいイメージも少しずつ出てきました。

まずは、**お互いの顔がわかり連絡が取り合える関係づくり!**です。そのためにも、『年に一度は交流したい!』『もっと、具体的な事例(受診介助等)で交流したい…』など、早くも第5回目交流会が視野に入ってきました。

(出雲地域交流会事務局)



交流会の振り返り

6月26日「地域つながりセンター 第12回総会」開催!

設立11年を迎え、今年度の地域つながりセンターの活動では、目的を再確認し活動をさらに進めていくため、体制・財政などについても、チームを作り見直していきたいと考えています。

総会ご挨拶

(石原代表)

おかげさまで昨年9月には構成団体のみなさんのご協力により<10周年記念事業>を開催することができました。次の10年に向けた「新たなパワー」が湧いてくる…そんな記念の日となりました。

今年2025年は、みなさんご存じのとおり、国連の定めた「国際協同組合年」です。「協同組合はよりよい世界を築きます」をテーマとし、協同組合どうしの連携を深め、社会課題の解決を加速させる年となることが期待されています。つながることで可能性が広がり、新たなものが生み出される、それがまた安心・元気につながる…このことは、この間の諸団体ですすめてきた地域づくり活動を通して、みなさんも確信を持たれたのではないのでしょうか。

めざすところは一緒である地域の諸団体どうし、「国際協同組合年」を契機に協同組合や行政・諸団体とのネットワークをさらに広げ、今の取り組みを今後につないでいくための新たな一歩を踏み出す年にしましょう!



下記は、当センターの役員の方々です。4つの団体内で、交替がありました。(任期は26年総会まで)

地域つながりセンター 役員名簿

2024年度～2025年度

役職	氏名	備考
1 代表	石原 淳子	生協しまね・副理事長
2 副代表	越野 浩昭	JAしまね・常務理事(くにびき地区本部・本部長)
3 副代表	高橋 健	あったか地域づくり協議会・代表(個人会員)
4 常任幹事	古川 康子	松江保健生協・総務部人事課・課長
5 常任幹事	小林 健吾	生協しまね・専務理事
6 常任幹事	吉井 祐加	出雲医療生協・常務理事
7 事務局長	野津 久美子	地域つながりセンター・事務局長(個人会員)
8 幹事	飯塚 郁子	JAしまね 本店・総務部ふれあい福祉課・課長
9 幹事	福島 洋介	JAしまねくにびき地区本部・企画総務部ふれあい課・課長
10 幹事	穴道 みちよ	生協しまね・理事
11 幹事	庄司 明子	松江保健生協・地域担当課長
12 幹事	中村 宏貴	ひかわ医療生協・地域サポートセンター長
13 幹事	瀧山 亜紀子	おたがいさま まつえ・やすぎ・代表
14 幹事	梅野 智子	おたがいさま いずも・代表
15 幹事	田中 学	おたがいさま 雲南・代表
16 幹事	田中 鈴夫	なないう食堂 運営委員会・委員長
17 幹事	大木 理之	NPO法人フードバンクしまねあったか元気便・事務局長
18 幹事	清原 春美	おたがいさま支援チーム・代表
19 幹事	岩崎 正志	島根県社会福祉協議会・地域福祉部長
20 幹事	池田 圭介	松江市社会福祉協議会・地域福祉課長
21 監事	戸田 和志	松江保健生協・常務理事(兼総務部長)
22 監事	新井 徹	生協しまね・組織運営部つながり応援チームリーダー

*任期は、2年間とします。

当日は、3団体が委任状出席、10会員が実出席で計13の全出席となりました。

生協しまね安井理事長を総会の議長とし、3つの議案提案および監査報告を行い、すべてご承認いただきました。

2024年度報告として、拠点5事業の活動を各事務局から報告しました。この会報でもそれぞれ少し紹介していますのでご覧ください。決算は、収入が5,345,443円、支出が3,335,302円(別途未払い727,763円)です。

また「子どもの笑顔応援基金」昨年度のご利用は計13世帯でした。支援の内容は、受診応援・お子さんの見守り・家事や外作業等でした。引き続き、対象世帯へ呼びかけます。

構成団体の組合員・職員のみなさまへ

2025年7月

地域つながりセンター

代表 石原 淳子

幹事会 一同

電話:0852-67-3088

FAX:0852-67-6890

～令和7年度「地域つながりセンターへの賛助」のお願い～

「集まって・話し合って・つながる拠点=地域つながりセンター」を
できる方法で 応援してください!

会1000円一口賛助で 会500円募金で 会寄付金(1円～)で

「共に支えあい 共に生きていくための 5つのしくみ」が広がるよう
『くらしと子育て応援の協働のまちづくり』を進めています。

お願い!これからも、当センターがその役割を継続して果たしていけますよう、重ねて
のご支援をお願い申し上げます。物価高騰の折、恐縮と存じますが7月来まで
「一口賛助・募金・ご寄付」などのご支援をよろしくお願いいたします。

コロナ禍以降、賛助会員・会費の減少が続いていますので、構成団体の組合員や職員の方々にも、できる範囲での「賛助・募金・寄付」を呼びかけます。

正会員団体内で、各部署ごとに回していただけるよう、左記のとおり「お願い」を貼った募金袋を数袋ずつ、各団体の幹事さんにお渡ししました。何卒ご協力よろしくお願いいたします。(事務局)

「総会・研修」雲南市前副市長 吉山 治氏を講師に学習会

「記録のすすめ～見えないご縁の糸が人生を豊かに面白く～」

約44年の現役勤務を終えられ、現在、地域の数々の役職も兼務しながら、自治会団地の「安心・安全を守る会」の世話人代表としても、登下校の見守りなど毎日生き生きと活動されています。地域の子どもや高齢者の見守りなどは、「人間を創る＝持続可能な地域づくり」そのものであること、また地域では、誰もが腹を割っていろんな話をしていけたら

…と、抱負も話されました。

豊富な行政経験からのお話も伺いました。明治・昭和の各合併は、子どもたちを育てる「教育」のための必要最少単位を確保することだった。平成の合併は、財政基盤としての存続が一番の理由であったなど。

また、特に平成の合併時および副市長時代と2回にわたり雲南市に関わり、強く感じたこととして『行政計画は立てたとしても住民参加が不可欠であること＝自立した住民自治』がとても重要と語られました。

そのため雲南市の行政計画についても住民が手に取りやすくわかりやすいようにと、絵本のような冊子（『うんなんビジョン 2025-2034』）が作成されました。さらに、ビジョンは具体的な活動項目まで起こしておくこ

とが大事である等。私たち自身も今年度は中期ビジョンについて検討を始めるとしてありますが大事な示唆を頂きました。また「記録」は、大変重要でその時にはわからないことも、あとで意味が理解でき活かすこともできる等をお聞きし、会議記録なども、振り返って再読し確認すると、見えてくること、気づくこともあるのではないかと思います。（事務局）

お話を聞き、住民自治の大切さは、協同組合の価値と共通するのではないかと改めて思いました。

学習会後、自治会活動について盛り上がった茶話会



講師のお話は「人生を豊かにする」にする上でも参考になるように思いました。

計17団体（個人含む）のべ150名がセンターに来訪…その1つ「新入職員研修」紹介



年度始めに、毎年「生活協同組合しまね」新入職員研修が行われます。地域の協同組合どうしが連携してどのような地域づくり活動を進めているのか、具体的な資料を基にお話をします。それを聴き、自分たちもこれからどんな行動ができそうなのか等、考えるきっかけにもなっているようです。

4月4日、当センターに5名の若さ溢れる職員さんと引率者で管理部 荒木さんが来訪。全員が初めてのセンター訪問です。センターを拠点とする5つの事業

すべてに生協しまねはその一員として協働していることを初めて見聞きし、様々な感想を寄せてくれました。これから始まる「協同組合」での仕事に誇りを持ち、健康と安全に気をつけて頑張ってもらいたいと思います。（野津）

生協の職員としてこれらの活動に参加してみたいと思った。子ども食堂に行ってみたいです。

地域の身近な人たちが凄く協力し合っているということが印象に残った。一人でも困っている人が減らせたらいいし、協同組合の活動に通じると思った。

困っている人を見ても自分は何もできないと思い込んでいましたが、活動を聞いてこんなにも手段があるんだとびっくり。すべて人を笑顔にしていることが感動です。自分も人を助ける心を持ち働きたい。

おたがいさまの活動も徐々に地域での広がりが見られるようになっていきます。2024 年度は先行の出雲市に続き奥出雲町、浜田市からも「家事育児訪問サポート事業」の支援事業者の委託を受け、応援者さんが活躍されています。子育て世代にお手伝いできる人がいる安心感をもっと届けたいものです。



1) 2024 年度おたがいさま活動実績

	いずも	まつえ・や	雲 南	大 田	浜 田	益 田	県内合計
利用件数 (件)	3,062	5,474	3,905	2,070	425	319	15,255 件
利用時間 (h)	7,356.5	9,563.0	5,935.0	5,429.0	1,146.5	457.0	29,887.0 時間
応援登録 (人)	287	462	448	56	126	61	1,450 人

県内おたがいさまの利用は 前年より 668 件、1,507 時間の増加、応援登録者は 5 人の増加でした。

2) 事例紹介

これまでずっと応援をさせてもらっていたが、今回初めて家具の移動を“おたがいさま”に相談しました。屈強な応援者さんに手伝ってもらい“おたがいさま”の有難さを実感。これからは、応援と利用を 7:3 くらいの割合でできたらいいと思います。

一人ぐらし方の希望で、話し相手やスマホの切り替え、猫の世話、トランプの相手など様々な応援をしています。こんなので応援料もらっていいのかなと思ったこともありましたが、安心して暮らせるお手伝いができていると感じています。

応援してみると利用者さんとも話が弾み、育児応援では癒されました。人との関わりから気づきや発見があり“おたがいさま”だけでなく地域の活動にも参加するようになりました。『社会的になったね』と周囲からも言われ“おたがいさま”との出会いで私は変わったと自負しています。

県内おたがいさまの全体交流会 (3 月)



事例からは関わる人を豊かにしていることが伺えます。

支援チームは、運営のサポートや交流企画、他団体との連携等活動の広がりを支援し、困りごとからお楽しみまで多様な出番がある活動を広くお知らせし、参加者を増やしていくことが当面の目標です。

3) 2024 年度収支報告

収入 1,144,642 円 (内訳)

生協しまね助成金	612,000 円
つながりセンター助成金	488,000 円
その他	44,642 円

支出 1,181,620 円 (内訳)

研修・交流費	170,040 円
広報費等	137,377 円
おたがいさま通信補助	149,977 円
スタッフ出張経費	65,836 円
スタッフ活動費 (7 名)	658,390 円

収入 = 1,144,642 円 支出 = 1,181,620 円
 次年度繰越 36,978 円

開催回数と参加人数

2024 年度は“なないろ食堂”を 11 回、“なないろ食堂寺子屋”を 7 回開催しました。積雪のため 2 月は両方とも中止しました。

参加者の実人数は“なないろ食堂”55 人、“寺子屋”19 人。1 回平均の参加者数は“なないろ食堂”19 人、“寺子屋”8 人。延べ参加者数は 270 人でした。小学生の参加がほとんどですが、高校進学前に「最後の参加です」と久々に顔を見せてくれた中学 3 年生もいました。

トピックス

なないろ食堂の初の取り組みとしては、5 月に島根大学生物資源科学部の塩月先生に昆虫の話をしていただいたこと。「トンボは時速何キロで飛ぶでしょう？」など興味深い内容に参加者は熱心に聴き入っていました。

また、8 月に“おおばてらこや”開催と合わせて大庭公民館でなないろ食堂を開催したこと。多目的ホールでそれぞれの参加者が一緒に食事をしました。

9 月には twopers 布野さん協力の企画、シルクスクリーンによる「オリジナルバッグ作り」。この時は参加者が 20 人を超えました。

ボランティア紹介

ボランティアについては、延べ 255 人(学生ボランティア延べ 80 人を含む)の方に活動を支えていただきました。

1 回平均のボランティア数は“なないろ食堂”17 人、“寺子屋”9 人でした。

大庭地区の民生児童委員さんが多数参加し、調理を担当してくださるようになりました。

また、小学生の頃になないろ食堂(虹会場)に参加していた高校生 2 名(大庭小の頃参加)がボランティア参加してくれるなど嬉しい事例もありました。

そのほかにも南高生 4 人が探求課題の一環で“おにぎらず”を作ってくれる、緑が丘養護学校の高等部の生徒さん 3 人と先生が寺子屋に参加するなど、高校生の体験の場ともなりました。

10 年を迎え これから…

今年 10 月には、なないろ食堂開設から 10 年目を迎えます。コロナ禍以降、参加対象を小中学生に限定して開催を続けていますが、乳幼児や保護者等多世代参加をどうしていくのかなど開催スタイルのこと継続開催をしていく上での事務局体制のことなど検討が必要です。

昆虫の話



おおばてらこや・コラボ



オリジナルバッグ作り



おにぎらずを作った高校生



寺子屋



『くらしと子育て応援の協働のまちづくり』 あったか元気便

2025 年度フードバンクの利用世帯は、松江市内小中学校の内 29 校、約 630 世帯となります。保冷庫に余っている玄米などがありましたら、ぜひご協力ください。また、ご利用の世帯には、夏休み中の楽しいイベントや中 3 生への応援塾などもどんどんお知らせしていきます。

＜連絡先＞ ☎ 0852-67-7350（受付時間 10 時～16 時）

同封のチラシも ご覧いただき、できる範囲でのご協力をお願いいたします。また、夏休みに利用世帯にお送りするためのパッキング作業＝「お米や食品を箱に入れる作業」もあります。お一人でも親子でもご参加をお待ちしています。（7 月中旬に事務局へご連絡ください…）

【箱詰めボランティア日程】

NO	日時(曜日)時間	場 所
7	8 月 5 日(火) 10:00～12:30頃	高齢者住宅ふらここ
8	8 月 6 日(水) 10:00～12:30頃	高齢者住宅ふらここ
9	8 月 7 日(木) 10:00～12:30頃	高齢者住宅ふらここ
10	8 月 19 日(火) 14:00～16:00頃	いきいきプラザ 体育館
11	8 月 22 日(金) 15:30～17:00頃	いきいきプラザ 体育館
12	8 月 22 日(金) 18:00～19:30頃	いきいきプラザ 体育館

お米SOS! 一人の笑顔 みんなで応援

お米が足りません!

皆さんの協力をお願いいたします

みんなの笑顔、みんなで応援

ひと箱の応援

期間 8/1～9/30

*** あったか元気便の新しい『倉庫』 大活躍中! 「高齢者住宅ふらここ」内にて ***

これまでは、自前の倉庫がなく、スタート時から大輪町の県営住宅のスペース(大輪子どもハウスのご協力)をお借りし、地域交流室にて作業をさせていただき、大変お世話になりました。また介護医療院「虹」の旧デイケア室なども食品や衛生用品などの保管場所としてお借りしていましたが、やっと! あったか元気便の専用の倉庫が決まりました。

25 年度からは、高齢者住宅「ふらここ」内で、昨年度までデイサービスで利用されていた広い部屋を貸して頂くことになりました。

集まった食品の、賞味期限の確認・種類別仕分け・食料品の保管・パッキング会場別の仕分け等、さまざまな作業ができます。

早速、7 月配布のフードバンクの準備が、6 月初めから始まりました。各団体、企業、公民館、当センターに寄せられた品が、次々と「ふらここ内」に運ばれ、ボランティアによる管理と仕分けの作業が続いています。

全体の管理をしている事務局の玉城さん…「広くてありがたいわ〜!」現在、全員 60 代 70 代女性のボランティアさん数名と共に奮闘中。

『毎日4時間、飽くなき戦い!の日々…』と笑います。



後記)

昨年 12 月より“あったか元気便”の事務局で活動している「高仁(たかに)」です。

7 月・8 月の夏休み便が、私にとって 3 回目の支援作業になります。まだまだ、不慣れな点もありますが、「支える輪づくり」の広がり、一緒に取り組んでいる方々、いきたいと思います。よろしくお願いします。



今年度も賛助金のご協力よろしくお願いいたします。

*賛助金の 5%は子どもの笑顔応援基金(生活が苦しい方々の支援)で活用しています。下記 いずれかの方法で、よろしくお願いします。

- ① 郵便局の振込 賛助会員の方には **振替用紙 同封**
 - ② 島根県農業協同組合 川津支店 普通 番号 0054909
 - ③ 山陰合同銀行 津田支店 普通 番号 3717933
 - ④ 島根銀行 学園通支店 普通 番号 0149654
- (共通)口座名義人 地域つながりセンター 代表 石原 淳子